

走行試験に関連した情報

- 公道走行の時間帯
午前9時～午後8時
- 車両数
3台
- 自動運転のレベル2（L2）の定義
以下の定義のとおり、アクセル・ブレーキ操作およびハンドル操作の両方が、部分的に自動化された状態を指す。運転操作の主体は、通常の運転と同様、運転者である。

運転自動化レベルの定義と対応する車両の呼称

レベル	概要	操縦*1の主体	車両の呼称
運転者が一部又はすべての動的運転タスクを実行			
レベル0	運転者が全ての動的運転タスクを実行	運転者	—
レベル1	システムが縦方向又は横方向のいずれかの車両運動制御のサブタスクを限定領域において実行	運転者	運転支援車
レベル2	システムが縦方向及び横方向両方の車両運動制御のサブタスクを限定領域において実行	運転者	
自動運転システムが（作動時は）全ての動的運転タスクを実行			
レベル3	システムが全ての動的運転タスクを限定領域において実行 作動継続が困難な場合は、システムの介入要求等に適切に応答	システム*2	条件付自動運転車 （限定領域）
レベル4	システムが全ての動的運転タスク及び作動継続が困難な場合への応答を限定領域において実行	システム	自動運転車 （限定領域）
レベル5	システムが全ての動的運転タスク及び作動継続が困難な場合への応答を無制限に （すなわち、限定領域内ではない）実行	システム	完全自動運転車

出典：官民 ITS 構想・ロードマップ, (元資料：SAE International J3016(2016)およびASV推進検討会資料より内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室作成)

今回実施するL2走行試験内容

試験内容①

- 自動運転モデルが（進路等を）正しく推論できているかの確認を画面上で行うための試験走行を行う。常に人がハンドルを握って運転する。

試験内容②

- 試験内容①の完了後、実際に自動運転モデルを搭載した車両が正しく動作するかの確認のための試験走行を行う。事前に閉鎖空間にて車両の確認を行った上で、セーフティドライバーが常時、運転席に乗車する。セーフティドライバーはハンドルから手を離すこともあるものの、緊急時等には即座に手動操作に切り替える。



* 助手席の画面でもモデルを確認している図